

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本日ここに岐阜大学に入学してこられた1,319名の皆さんに対し、岐阜大学のすべての教職員を代表して心から歓迎の意を表します。入学の喜びと勉学への意欲に燃える皆さんを柳戸キャンパスに迎えることは私共岐阜大学の教職員にとって大きな喜びであります。皆さんの岐阜大学入学の機会に、まず、これまで皆さんを支えてこられた保護者の方々や諸先輩に心よりお祝いを申し上げます。

本日より皆さんの新しい大学生としての生活がスタートします。大学では学問をまだ解決されていない問題として学習、研究致します。それ故、大学での勉学は、常に自主的な学習、研究の姿勢が必要となります。この研究の姿勢は新しい概念や法則の発見を見出すことに繋がります。一方、大学は知的能力の涵養を行う場であるだけではなく、人間形成の重要な場でもあります。今日から始まる大学生活は長い生涯の目的とあり方を構築する重要な時間であります。従って、勉学に励むだけではなく、人間性を深める芸術や読書に勤しみ、体力増強に繋がるスポーツ活動も積極的に行なって頂きたいと思っております。健全な肉体と精神を有することは生涯社会で活躍する上で極めて重要なことでもあります。

岐阜大学は「学び、究め、貢献する大学」をモットーとし、特に「社会貢献する人材を育てること」を誇りとしています。皆さんも本学で学ぶことによって、立派な社会人になるべく、勉学に励んで頂きたいと思っております。

今日、厳しい状況が続く社会の中で、国立大学は国民に大学の重要性や意義を理解して頂くため、どういう人材を如何に育ててきたか、今行っている教育にどのような特徴があるか、その将来像はどうか、を示す作業を行っております。岐阜大学の歴史の始まりは1873年であります。2011年に日経産業新聞に紹介された帝国データバンクによれば、創設年の最も古い大学は1580年の立正大学で、岐阜大学は4位となっております。岐阜大学のいずれの学部もそれぞれの歴史を有しています。卒業生も実に多様な分野で活躍をされています。一部の国においては岐阜大学留学生の同窓会組織も出来ております。このような本学の歴史的な絆は皆さんの今後の活躍を大いにサポートするものと信じております。皆さんはこれから大学生活を始めることとなりますが、是非、自分の志、夢を大事にして下さい。簡単に自らの才能を見限らないことでもあります。勿論、進路を軌道修正する柔軟さや何かを捨てる決断も必要であります。いずれにせよ、自分の将来を切り開くには地道な努力の継続が必要であることはいままでもありません。一人の身近な例を紹介致します。

世界最小最強セッターと言われている日本女子バレーの竹下佳江さんです。彼女はロンドンオリンピックの銅メダリストですが、厳しいスポーツ人生を送って来ました。一つの理由は159センチというバレーの世界では小柄な体格です。そのため、彼女は他人の3倍は練習をしたと言います。ワールドカップを戦った同僚の一人は朝4時から練習をしている彼女を見えています。4時から練習を開始するには3時半には体育館に着いていなければなりません。2000年6月、彼女を擁した日本チームはシドニーオリンピックの最終予選の出場が決まるクロアチア戦をフルセットの末、落としました。東京五輪から続いて来た五輪出場が閉ざされた瞬間でした。竹下は悩み、バレーボールを止める決心をします。新しい仕事を見つける為にハローワークへ通います。いろいろ探しているうちに「これだ」と思ったのが介護福祉士です。長年のセッター経験から、相手が何を求めているか察知出来るし、体力にも自身がある。資格を取るための準備を始めたそうです。バレーの話題すら避けていた彼女が再びバレーへ戻ることになったのはある実業団チームの部長の強い説得です。彼女の再度の決断でした。

さて、現在の国際化時代に異文化、他文化を理解し、学ぶことは必要であります。世界では現在、6000の言語が話されていますが、その半数は絶滅が危惧されています。2000年以上の歴史を持つ言語はギリシャ語、ヘブライ語、バスク語、ラテン語などわずかで、カメルーンのルオ語は現在一人の話し手しかいないとされています。主要言語のうち、最も使用されているのは英語であり、国際的な会議や学会の公用語も英語であることが多く、世界中の航空管制官は英語を使用しています。ヨーロッパでは母国語が英語では無い国でも大学、研究所などでは英語が共通言語として使用されており、アジアの国々でもその傾向が広まりつつあります。従って、このグローバル時代においてはコミュニケーションに欠かせない英語などを在学中に鍛えるのは大切だと思います。

今、我国は歴史的にもあまり見られなかった様な転換期にあると思います。政治、経済、産業どの分野をとっても難しい局面を迎えております。加えて、我国には東日本大震災に代表される様に自然災害との戦いの必然性があり、産業の発展に必要な天然資源の不足や急激な少子・高齢化の様な社会問題も存在します。従って、この難局を克服し、さらなる国の発展を得るには外交、経済、産業などいずれの問題の議論にも皆さんを含めて国民が積極的に参加すること

が必要と考えます。日本の優れるものの代表に美しい国土と共に勤勉・実直で知識欲に富んだ国民性があります。特に、この国民性を背景とする学ぶ姿勢こそがこれからも日本の強さを生み出すエネルギーだと思います。どうか充実した大学時代を過ごし、この国をリードする様な人材に成長して頂きたいと願います。私共も縁あって、皆さんを受け入れる限り、出来るだけ良い教育環境を作ることに最大限の努力を致します。皆さんも本学学生として悔いの無い時を送って頂きたいと願います。

平成25年4月7日

岐阜大学学長

森 秀樹